

新しい内山暮らし発見！

うちま通信

2

2015.7

発行元：有田内山まちづくり会議
連絡先：有田町まちづくり課
〒849-4192 有田町立部乙2202
TEL0955-46-2990

いぶきぎだす



5月29日に白川公民館で「第1回有田内山クラス(暮らす)会」が開催され、60人の住民が集まりました。

初めに有田町都市景観審議会委員工藤卓先生が「有田内山のたからもの」という演題で講演。江戸時代から昭和までの各時代の家屋が残る内山地区は「世界的にも希少」とし、現在改修を進めている異人館を用いて、「住民だけでなく観光客にも内山地区が持つ“たから”を訴えていくことが重要である。」と話されました。

次に、後藤治工学院大学教授が「有田内山の可能性」という演題で、「町家は先人が残した遺産・地域の資源である。古い町家という以前は「不便、暗い」などマイナスイメージだったが、現在は若者があこがれる「日本家屋」。八女福島では、町屋が空くのを待っている人がいる



5月29日の第1回有田内山クラス(暮らす)会。後援会後の意見交換では質問や提案が活発に交わされました。

ほどである。全国で空き家に悩む地域は多いが、地元の生活や文化が観光客の興味を引く有田は優位。」と話されました。

また、クラス(暮らす)会終了後には上幸平の篠原さんのお庭で開催された「ムーンライトバル in Arita」(主催・有田商工会議所)にて懇親会。これは今年の陶器市でトーンバイ塀通りにて開催された「カフェ・ド・アリタ」の第2弾です。

ほたるが舞う幻想的な雰囲気の中で、内山の思い出や魅力について語りあつた参加者たち。内山のよさを再認識した1日でした。

課題を共有しましょう

有田内山まちづくり会議がこのような会を開いたのは、内山に暮らす上での“課題”を関係者全員で認識すること、町並みを直し活かすためには「住民が連帯すること」が必要であると考えたからです。

クラス(暮らす)会で行った住民アンケートには「後継者がいないので、ゆくゆくは空き家になるであろう」「家が密集し、隣家との間隔がないため、表通りから裏通りへ抜ける防災対策が必要」「家の修理代にお金がかさむ」「日当たりが悪く、寒い」「地域のコミュニケーションが薄い」など、内山ならではの切実な悩みや問題点を書いてありました。

クラス(暮らす)会は内山の皆さんが課題を共有し、解決策を考える場でもあります。

第2回目のクラス(暮らす)会は7月18日(土)です。【詳しくは裏面】自分の抱えている課題は近所さんも抱える課題かもしれません。うちやまびとで課題を共有し、解決策を考えませんか。

伝統的建造物、希望、期待を未来につなげるために



5月29日のムーンライトバル in Aritaのようす。内山の雰囲気がお酒をさらにおいしくしました。

まちのオフィス 春陽堂
業務時間 月～金曜日 9時頃～16時頃
住所 有田町大樽2丁目3番6号
電話 0955-25-9230



まちのオフィス・春陽堂 オープン

6月14日に「まちのオフィス・春陽堂」のオープンイベントが行われました。式典では山口隆敏町長と、内山まちづくり会議の清水耕一郎部会長が関係者の見守る中、くす玉を割ってスタート。

来場者には役場若手職員らが朝から杵でついたもちをふるまい、新しいまちづくり拠点のオープンを祝いました。(表紙写真)

サテライトオフィスでは
こんなことを
しています。

● **空き家相談窓口**
空き屋の状況調査や相談窓口(改修策・活用策)、所有者と移住希望者とのマッチングなど、空き家を有効活用し、新しい可能性を提案します。

● **余計なお世話隊 窓口**
空き家再生のために、掃除や片付けを行うボランティア

ぜひ
おこし下さい



「余計なお世話隊」。興味のある方はご相談ください。

● **移住定住交流窓口**
有田に住みたい！有田で働きたい！有田で起業したい！などのご相談に応じます。

● **内山まちづくり活動拠点**
まちづくりの活動拠点として、皆さんのまちづくりを応援します。

● **メディアを活用した情報発信**
内山のいちばん新しい情報を、日本のみならず世界に向けて発信していきます。

● **400年事業との連携**
2016年は有田焼創業400年、大いに盛り上げます。

オフィスにはまちづくり課職員が2名常駐しています。(月々金曜日・9時〜16時) 建物の一部を開放していますので、会合などにも活用ください。また、みなさんの憩いの場になればと思います。内山のなつかしい写真を展示しています。ご高齢の方にはなつかしい、若い方には新鮮な1枚が並んでいます。ぜひ、足を運びください。



上：まちづくりについての会議のようす
下：6月14日オープンイベントのようす
ここで活動することで町屋の可能性を広げていけたらと思います。



内山に暮らす人、内山で働く人、内山が好きな人。そんな「うちやまビト」を毎回紹介していきます。



有田町長（昭和38年～平成3年）
故 青木 類次さん

昭和38年から平成3年の7期28年間にわたって町長を務められた青木町長。内山地区の伝統的建造物群保存地区認定などに尽力されました。

平成2年に行われた広報ありたの対談のなかでは「内山地区の町づくりに望んでいることは、歴史的な景観が残る、落ち着いた情緒を大切にしていくこと。

21世紀になってもこの歴史的な景観は大切にしていってほしい。この景観を守っていくためには、地区全体の連携プレーが必要です。」と話されています。

また昭和41年に開催された有田焼創業350年祭では「次の世代で受け継いでくれるであろう400年祭の主催者に限りない希望と期待をかけて、この有田焼創業350年祭の式典を意義あらしめたい」とあいさつ。

今を生きる私たちに伝統的建造物だけでなく、希望と期待も残されました。

News & Topics

有田ふうりん展

有田の夏に涼やかな音色が響く「有田ふうりん展」を「有田館」（幸平）にて開催します。

形や厚みによってちがう風鈴の音色と色鮮やかなデザインをお楽しみください。

有田焼風鈴の絵付け体験もあります。（1,000円：体験・材料費・税込み、送料別）

■ところ：伝統文化の交流
プラザ「有田館」
有田町幸平1-1-1

■開催期間：8月31日まで

■詳しくは
伝統文化の交流プラザ
「有田館」 TEL41-1300

「ありたうちやまあるき」九州代表に

6月27日に佐賀市で開催された平成27年度九州ブロック研修集会「建築士の集い」において、佐賀県代表として「ありたうちやまあるき実行委員会」が3年間かけて作成したマップ「ありたうちやまあるき」の取り組みを地域実践活動報告として紹介し、九州代表に選ばれました。

同大会では未来に価値ある空間を継承できるよう改善する取り組みや活動を紹介。10月には石川県で行われる全国大会でもマップが紹介されます。

大会に参加される田中妙子さん（舞原）は「しっかり有田をPRしてきますよ。」と話してくれました。

第2回有田内山クラス(暮らす)会

今回は福岡県八女市の伝統的建造物群保存地区の町屋と町並みの再生に取り組まれている中島孝行氏を迎え、若者移住者を引き付ける先進的な取り組みについてご講演いただきます。

■日時 7月18日(土)

17時30分～19時

■場所 白川公民館

■対象 内山に暮らす方・関わりのある方どなたでも

■内容 まちなみ講演会
講師 中島孝行氏

意見交換会

■詳しくは

町文化財課 TEL43-2678

町まちづくり課 TEL46-2990

バルウォークin大樽

バルとは食べ歩き飲み歩きするグルメイベントです。内山の町並みを眺めながら、有田の夏を楽しみませんか。

■日時 7月18日(土) 18時～

■場所 商工会議所付近の参加店

■チケット 1,500円

(500円チケット3枚)

チケット1枚につきドリンク+ピンチョス(おつまみ)を楽しめます。

■チケット販売

有田商工会議所 TEL42-4111

まちのオフィス・春陽堂 TEL25-9230